ACTION REPORT

党青年委員長として、大臣政務官として、そして何より皆さまの代表として、東奔西走した昨年１年間を写真で振り返ります。

参議院本会議では『核兵器のない世界』と日本の役割について、政府の方針を問い質した（3 月）

災害対策特別委員会で九州北部豪雨の現地調査（7 月）

新事務所が竣工した千葉県本部では、議員の日常活動について全員で確認（9 月）

ニコニコ超会議への出展などを通じて、若者に政治を身近に感じて貰うための発信に取り組む（4 月）

ユーラシア・グループのイアン・ブレマー氏とは、地政学リスクと日本の国家戦略について語らう（10 月）

学生との討論イベントは、若者の“生の声”を聴ける貴重な機会（5 月）

山口代表と新潟･糸魚川大火の跡地を視察。早期復興を目指す（7 月）

第４次安倍内閣発足に伴い、8月から就任していた大臣政務官を続投することに（11 月）

HIRAKI DAISAKU NEWS

HIRAKI DAISAKU NEWS 参議院議員

平木だいさく

2018年 新春号

発行日：2018 年 1 月
発行元：公明党参議院比例区第３総支部　千葉県船橋市湊町 1 - 7 - 4　B号室

仕事人内閣、再始動。

昨年 11 月 1 日、第４次安倍内閣が発足を致しました。まずはそれに先立つ衆議院総選挙、並びに夏の東京都議会議員選挙と連続して行われた大型選挙において、公明党にご支援頂いた皆様に改めて御礼申し上げます。

総選挙の際に争点ともなった『生産性革命』と『人づくり革命』は、人口減少社会において、日本が経済成長を遂げるためにも欠かすことのできない政策の柱であり、公明党の従来の主張とも合致するものです。皆様からお与え頂いた、安定した政治基盤とともに、政権運営もいよいよ６年目に入りました。一部で気の緩みも指摘される今こそ、連立合意の基本に立ち返り、国民の皆様から付託された仕事に、一つひとつ丁寧に取り組んでまいる決意です。

私自身、昨年は党青年委員長の大任を拝し、また昨夏の内閣改造の折に任命された、経済産業大臣政務官、兼内閣府大臣政務官、兼復興大臣政務官を引き続き担わせて頂いております。3 つの政務官を兼任する訳ですが、私の担務を要約すれば、日本経済の再生と原発災害からの福島の復興となります。これはまさに、連立合意に明記された政権の最優先事項に他なりません。結果をもってご期待にお応えするしかないと決め、一層真摯に仕事に向き合っていく所存です。

公明党参議院議員
平木大作

PROFILE　1974年(昭和49年)10月16日、長野県生まれ。創価高校、東京大学法学部卒。IESEビジネススクール経営学修士(MBA)。米シティバンクを経て、戦略系コンサルティング会社等で海外市場戦略の策定などに従事。2013年参議院通常選挙で初当選。2017年8月、経済産業大臣政務官、兼内閣府大臣政務官、兼復興大臣政務官に就任。公明党青年委員長、同国際局次長、同広報局次長、同NPO局次長。